

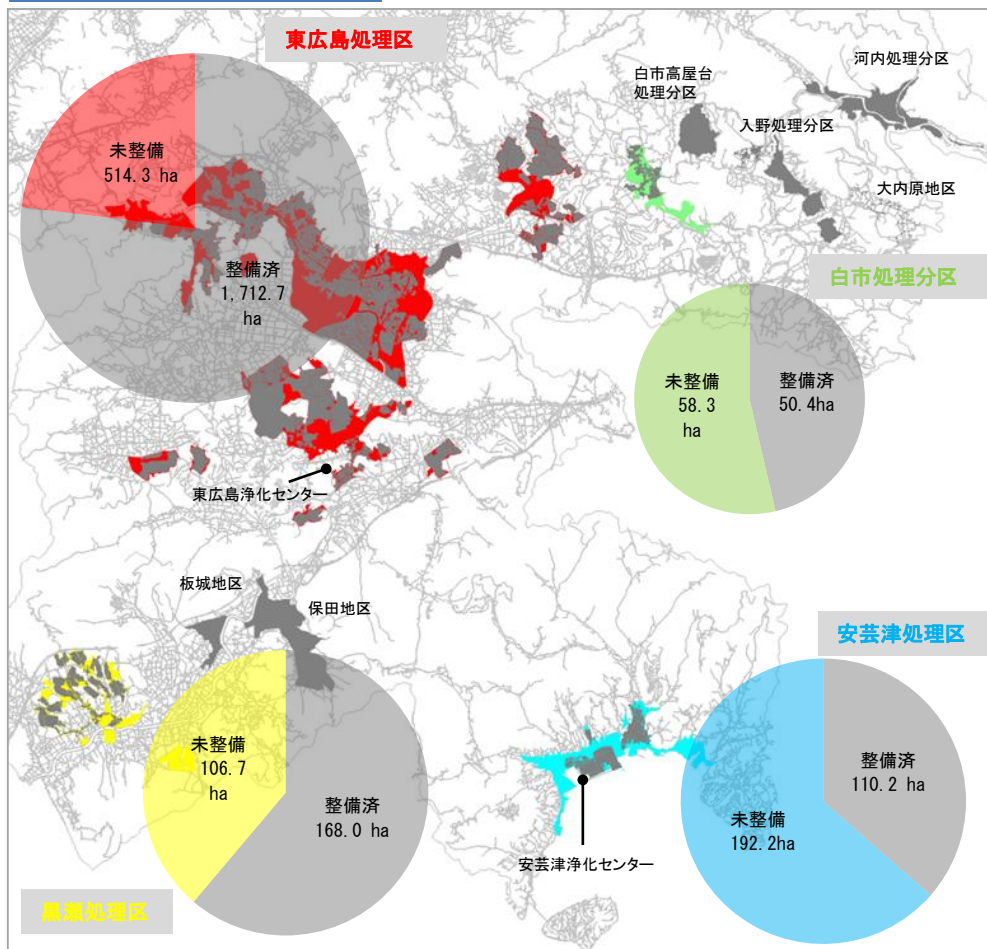
# 1-① 下水道未普及地区の早期概成について

## 東広島市の現状と課題・取組状況

## 防災・減災及び経済成長に資する 社会資本整備の促進について

- 本市の下水道処理人口普及率は令和5年度末現在47.1%(速報値)と低い水準にある。
- 下水道の早期概成に向け、全体計画区域の縮小による残事業費の縮減及び年事業費の増額による残整備期間の短縮を図ることとした、「東広島市下水道未普及解消整備計画」を平成28年度に策定したが、平成30年7月豪雨災害等により事業進捗に遅れが生じたことから、適切な進捗管理を行うため、令和5年度に整備計画の見直しを行った。
- 今後も、効率的な整備を進めるため、下水道未普及地域の早期概成に係る事業費の確保が必要である。

### 下水道整備状況 (R5)



### 未普及対策事業

【事業年度】  
令和17年まで

【整備目標】

|                | 下水道<br>面積整備率                      | 下水道<br>処理人口普及率<br>(公共+特環)        |
|----------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 現在<br>(R5年度末)  | 実績57.7%(速報値)<br>計画71.4%<br>▲13.7% | 実績47.1%(速報値)<br>計画51.2%<br>▲4.1% |
| R6年度           | 計画73.0%                           | 計画52.3%                          |
| R7年度           | 計画74.8%                           | 計画53.5%                          |
| ⋮              | ⋮                                 | ⋮                                |
| 概成<br>(R17年度末) | 計画100.0%                          | 計画65.2%                          |

【東広島市下水道未普及解消整備計画】  
 污水管渠整備にかかる総事業費 : 約285億円  
 単年度当たりの污水管渠整備事業費 : 約24億円/(設計費+工事費)  
 整備期間 : 令和6年度～令和17年度(12年間)